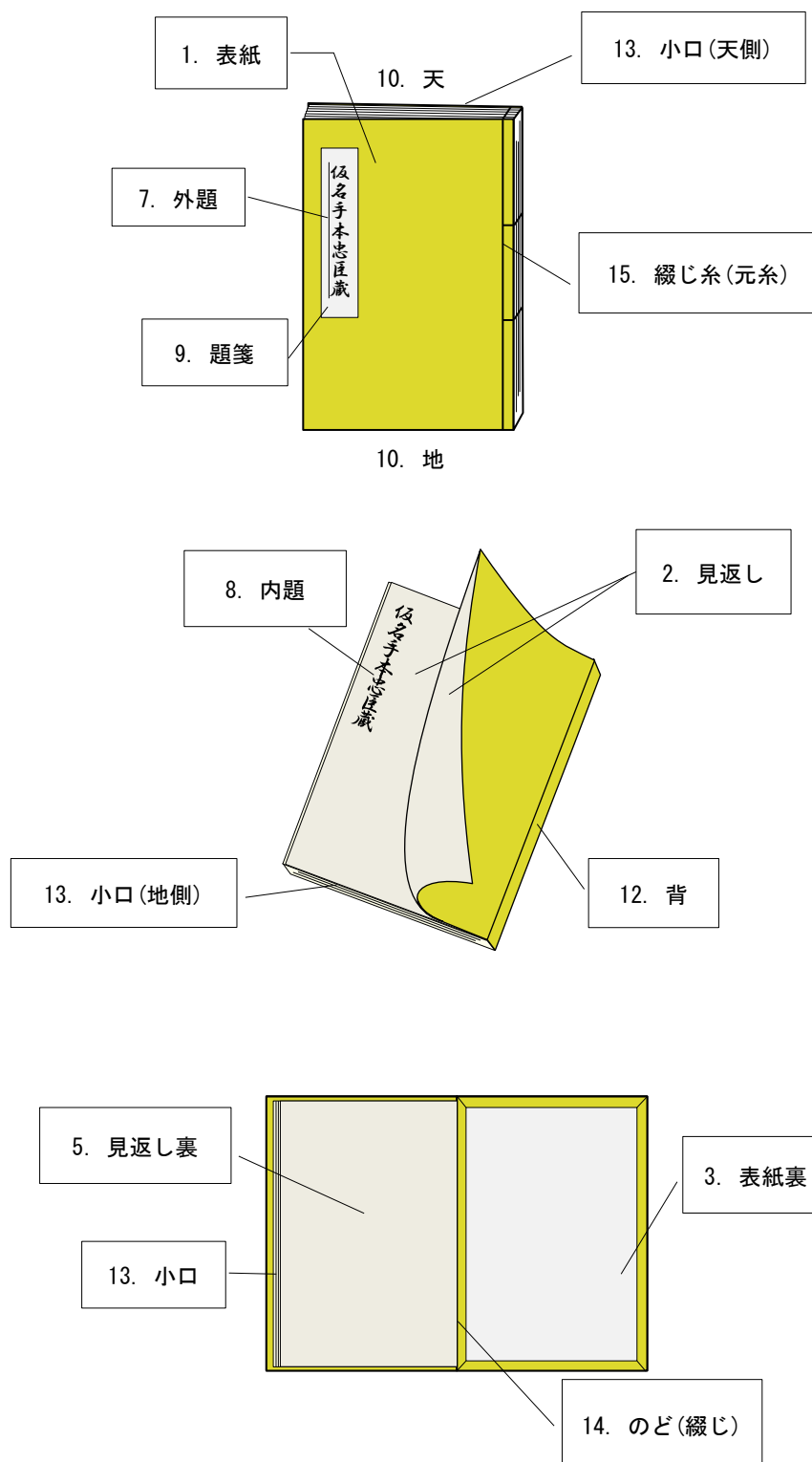


1-1-1. 資料の各部分の名称、付属資料の名称について

資料撮影の際によく使われる資料の各部分の名称、また、各種付属資料の名称を以下に挙げる。

【資料の各部分の名称】



名称	各部分の説明
1. 表紙 表(おもて)表紙、裏表紙	書物の一番外側。
2. 見返(みかえし)	表(おもて)表紙の裏面。本の表紙と本文とをつなぐ部分と、そのための用紙のことをいう。内題が書かれていることがある。
3. 表紙裏	表紙と見返しが分かれているときの、表紙の裏側。紙背文書(しはいもんじょ)が使われていることがある。
4. 紙背文書 (しはいもんじょ)	使用済みの和紙の裏面を利用して別の文書が書かれた際の、先に使用されていた面の文書のことをいう。後で書かれた文書が主となるので、先の使用済みの面が紙背(裏)となる。
5. 見返し裏	表紙と見返しが分かれているときの、見返しの裏側(表表紙側)。内題が書かれていることがある。
6. 遊び紙(あそびがみ)	本文保護のため、書物の見返しと本文の間に添えられる白紙。
7. 外題(げだい)	表表紙に記された書名。
8. 内題(ないだい)	書物の内部に記される書名。
9. 題箋(だいせん)	書名を別の紙に記すなどして表表紙に貼りつけたもの。
10. 天、地	書物の上下を表す呼び方。天が上部、地が下部となる。

名称	各部分の説明
11. 丁(ちょう)	書物の頁(ページ)を表す単位。表裏二頁分で一丁となる。その呼び方は「一丁表(おもて)」「一丁裏(うら)」、略して「一オ」「一ウ」のように記される。丁の順序が間違って綴じられていること、また、その丁を「乱丁」といい、丁が一部欠けているものを「欠丁」という。
12. 背	書物を綴じている側。洋装本では背文字が書かれている。
13. 小口(こぐち)	書物の背の部分を除いた三方。背の反対側は“前小口”という。袋綴じ本で「小口切れ」といえば、前小口が切れて開いていることをいう。
14. のど(綴じ)	見開きにしたときの綴じ目に近い部分。「のど(綴じ)がきつい」＝「資料の開きが悪い」の意。
15. 綴糸(とじいと)	書物を綴じた糸。“元糸(もといと)”ともいう。

【資料の各部分の名称 — 付属資料の名称】

付属資料の名称	付属資料の説明
貼紙資料 (はりがみしりょう)	本紙に直接貼り込まれている資料の総称。“貼込み資料”ともいう。 資料例としては、付箋のほか、貼紙で訂正をしている“貼紙訂正” などがある。
付箋(ふせん)	貼紙資料のひとつ。本文中に貼紙をして疑問などを記しているもの。
綴込み資料 (とじこみしりょう)	本紙に直接綴じ込まれている資料の総称。
折込み資料 (おりこみしりょう)	本紙よりも判型が大きな資料を折りたたみ、本紙に綴じ込んでいる もの。
挟み込み資料 (はさみこみしりょう)	冊子本の丁に挟み込まれている資料の総称。書状やメモなど、通常 の資料が挟み込まれたもののほか、貼紙が剥離したもの、書袋など がある。
丁内資料 (ちょうないしりょう)	袋綴じ本の丁内に入っている資料の総称。
不審紙 (ふしんがみ・ふしんし)	本文中の注目すべき箇所に目印として用いるもの。色のついた紙片 を小さくちぎって使用することが多い。“附紙/付紙(つけがみ)”と もいう。
書袋(しょたい)	書物を入れている袋。
包紙(つつみがみ)	書状などの文書を包む紙。